

船舶の監視とPI保険

背景

国際P&Iグループに加盟するクラブは、法令上および規制上の義務に基づいて、高度な制裁遵守プログラムと手続を行っています。制裁リスクを管理するために加盟クラブが策定した規則と手続は、国連安全保障理事会（UNSCR）、英国金融制裁推進局（OFSI）、米国国務省、米国外国資産管理局（OFAC）などの機関が提供する指針を考慮したものです。また、サーキュラーやニュースアラートを通じて、組合員の皆さまに最新の動向をお知らせするよう努めています。

近年、自動船舶識別装置（以下AIS）を使用して船舶を監視する機能は、P&Iクラブの制裁遵守プログラムにおいてますます重要な要素となっています。この度、国際P&Iグループの全クラブは、船舶追跡の共通の最低基準を以下の通りに合意いたしました。

船舶追跡ソフトウェアの見直し

P&Iクラブが、この急速に発展している分野で利用可能な船舶追跡サービスの能力を十分に認識するため、国際P&Iグループの作業部会はサービス提供者との綿密な話し合いを行い、高リスク地域での船舶の監視に利用可能な技術への理解を深めました。

その後、これらのサービスは、現在P&Iクラブが利用しているソフトウェアと比較して試されました。そして、現在、国際P&Iグループの加盟クラブが、加入船舶の動静を追跡するためサービスを使用しています。

船舶追跡のための共通基準の導入

すべての加盟クラブは、組合員が制裁の枠組みを認識し、船舶が制裁違反となる取引に使用されないことを確実なものにするという目標を共有しています。国際P&Iグループで合意された高リスク地域における船舶追跡の共通の最低基準は、制裁対象国での寄港、異常な航行、船舶のAIS送信機の改ざんおよび/または電源オフ、高リスク地域での瀬取り活動などを特定するのに役立ちます。

P&Iクラブは、メンバーの取引パターンに影響を及ぼす可能性のある制裁措置と、制裁措置に違反しないための注意義務を認識してもらうため、船舶追跡サービス提供者から受け取った情報を利用して組合員に連絡を取ることができるようになります。また、この情報は、クラブが制裁措置に違反している船舶に誤って保険カバーを提供してしまうリスクを軽減するためにも使用されます。

AIS追跡の限界

当クラブのサーキュラー（L.322 北朝鮮に対する国連、米国、EUの制裁について）でもお伝えした通り、制裁逃れが疑われる行動の指標は、不可解な航路変更やAISの送信停止です。しかし、AIS送信を日常的に監視したからといって、潜在的な制裁逃れの行動を完璧に見分けることができるわけではありません。単にAIS信号が受信されていないことをもって、船舶が「（意図的な）連絡途絶」、「違法行為」に従事している、あるいはAISの電源を「オフ」にしている、と判断するのは誤解のおそれがあります。なぜなら、AIS信号が受信されない理由はいくつか考えられるからです。たとえば以下のような場合です。

1. 特に船舶の交通量が多い海域においては、船舶側ではなく、AIS信号の受信側に問題が出る可能性があります。これは一般的な問題です。
2. 追跡サービスの事業者によって使用しているAIS受信機が異なるため、ある事業者でAIS信号を受信していなくても、別の事業者ではAIS信号を正常に送信している可能性があります。
3. 米国の船舶航行勧告でも指摘されているように、他の船舶が偽のAISを送信し、別の船舶のIMO番号（船舶識別コード）を使用することで、船舶のなりすましが行われる可能性があります。このようななりすましの結果として、自身の所有船が実際の位置から数千マイル離れた場所にいると偽って報告され、あとになって無実の船舶所有者が制裁逃れの罪に問われていることも考えられます。
4. 海上における人命の安全のための国際条約（SOLAS条約）は、「AISを装備した船舶は、国際的な協定、規則、基準が航海情報の保護を規定している場合を除き、常にAISの作動を維持しなければならない」と規定しています。SOLAS条約に従ってAIS装置を作動させない場合、旗国の規則に違反することになります。しかし、SOLAS条約は安全とセキュリティ上の理由からAIS装置の電源を切ることを許可しているため、AIS装置の電源を切った場合であっても、正当な理由があるかもしれません。
5. 船舶が旗国の規則を遵守していない場合、船舶所有者にはP&Iクラブのルールのもとの保険カバーが損なわれるリスクが生じます。また、船舶所有者が制裁に違反して船舶を取引したり、AISデータを改ざんしたり、送信を控えたりして船舶の位置を偽装した場合には、無分別または違法な取引であることを理由に保険カバーが拒否されることもありうるでしょう。

このような限界はあるものの、AIS送信を定期的に監視することは、制裁法を遵守し、また、制裁対象となる行為を選択した船舶に対しては保険カバーの権利を剥奪するというP&Iクラブの継続的な取り組みの一部として、重要な役割を果たしています。

しかし、AIS信号の監視だけで効果的に制裁を遵守することはできません。この取り組みは全体の一部分に過ぎません。AIS以外のデータシステムもまた、船舶の安全警告システムや旗国から提供される情報とともに効果的な船舶監視プログラムを支援しています。また、専門家による生のデータ分析も不可欠です。さらに衛星画像は、ますます有用なツールとなっています。

国際P&Iグループに加盟している全てのクラブは、高リスク地域の船舶を監視し、組合員のリスクを最小限に抑えることに取り組んでおり、また、同様の内容のサーキュラーを発行しています。

スチームシップ・ミューチュアル・アンダーライティング・アソシエーション・リミテッド